



平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハニーズ

コード番号 2792

URL <http://www.honeys.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江尻 義久

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 西名 孝 (TEL) 0246-29-1111

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日~平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	43,847	△1.8	890	△65.5	724	△75.2	△38	—
25年5月期第3四半期	44,648	3.3	2,578	—	2,919	—	1,485	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 313百万円(△86.5%) 25年5月期第3四半期 2,327百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	△1.39	—
25年5月期第3四半期	53.22	—

(注) 第1四半期連結累計期間より、会計方針を一部変更しており、前年同期については各財務数値に対して遡及処理を行っております。これに伴い、25年5月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第3四半期	36,587	29,596	80.9	1,061.18
25年5月期	38,045	29,990	78.8	1,074.93

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 29,596百万円 25年5月期 29,990百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年5月期	—	10.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日~平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,250	△1.1	2,500	△46.9	2,300	△56.0	830	△69.7	29.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報 (注意事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年5月期3Q	27,900,000株	25年5月期	27,900,000株
26年5月期3Q	10,072株	25年5月期	72株
26年5月期3Q	27,898,059株	25年5月期3Q	27,899,928株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、民間需要の伸びは高まりを見せましたが、政府による景気対策事業が一巡し公的需要が減速、また輸入の大幅増加から外需がマイナス寄与となり、比較的緩やかな改善にとどまりました。一方、先行きは、駆け込み需要の反動と、消費税率引き上げに伴う物価上昇など、不透明感が増しております。

当社グループが属するレディースカジュアル専門店業界は、円安の進行に加え、秋口の残暑や度重なる台風、記録的な大雪など、不安定な天候の影響を受け、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、お客様の多様なニーズにお応えできる商品構成と価格帯の展開を試みました。また、EC事業につきましては、自社オンラインショップのサイトリニューアルを行い、より一層の販売力強化に努めました。店舗におきましては、引き続きコーディネート提案の強化および接客の強化に注力いたしました。

店舗展開に関しましては、引き続きスクラップアンドビルドを進めた結果、当第3四半期連結会計期間末における国内店舗数は835店舗となりました。

中国子会社である好麗姿(上海)服飾商貿有限公司(注)におきましては、当第3四半期連結会計期間末における直営店舗数は598店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は438億47百万円(前年同期比1.8%減)、営業利益は8億90百万円(同65.5%減)、経常利益は7億24百万円(同75.2%減)、四半期純損失は38百万円(前年同期は四半期純利益14億85百万円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<日本>

日本における売上高は348億59百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益は8億92百万円(同55.7%減)となりました。不安定な天候の影響等により、売上高が前年を割り込んだことから、減益となりました。

<中国>

中国における売上高は89億87百万円(前年同期比19.5%増)、営業損失は77百万円(前年同期は営業利益5億03百万円)となりました。販売競争が厳しさを増して、客数が伸び悩んだことから、営業損失となりました。

<その他>

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマー現地法人の事業活動を含んでおりません。当第3四半期連結累計期間における営業損失は47百万円(前年同期の営業損失は29百万円)となりました。

(注)好麗姿(上海)服飾商貿有限公司の社名は中国語簡体字を含んでいるため、日本語常用漢字で代用しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて14億57百万円減少して365億87百万円となりました。これは、現金及び預金、売掛金が減少したこと等によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べて10億63百万円減少して69億90百万円となりました。これは、未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べて3億94百万円減少して295億96百万円となりました。これは、利益剰余金が減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成26年1月7日公表の数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社及び連結子会社の商品の評価方法は、従来、主として売価還元法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間から、新在庫管理システムが本稼動し、継続記録による商品の受払に基づく在庫単価の計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、総平均法に変更しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。この結果、遡及適用を行う前に比べて、前第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ64,631千円増加しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は545,082千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,684,698	6,117,040
売掛金	3,592,483	2,685,813
たな卸資産	7,158,891	7,944,793
未収還付法人税等	975	671,442
その他	1,411,755	884,938
貸倒引当金	△1,541	△634
流動資産合計	19,847,262	18,303,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,529,782	6,595,021
その他	2,928,376	2,874,562
有形固定資産合計	9,458,158	9,469,584
無形固定資産		
その他	228,792	215,200
無形固定資産合計	228,792	215,200
投資その他の資産		
差入保証金	7,664,612	7,693,335
その他	877,478	930,761
貸倒引当金	△31,152	△24,999
投資その他の資産合計	8,510,939	8,599,097
固定資産合計	18,197,889	18,283,882
資産合計	38,045,152	36,587,276
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,690,212	1,295,366
短期借入金	150,400	654,914
1年内返済予定の長期借入金	660,000	204,400
未払法人税等	797,783	78,471
ポイント引当金	3,527	3,809
資産除去債務	9,870	14,741
その他	2,720,665	2,612,255
流動負債合計	6,032,458	4,863,959
固定負債		
退職給付引当金	1,213,116	1,322,805
資産除去債務	780,848	792,578
その他	28,250	11,633
固定負債合計	2,022,215	2,127,017
負債合計	8,054,673	6,990,977

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,566,800	3,566,800
資本剰余金	3,941,880	3,941,880
利益剰余金	21,968,826	21,232,532
自己株式	△330	△10,173
株主資本合計	29,477,175	28,731,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,105	5,296
繰延ヘッジ損益	146,091	△22,692
為替換算調整勘定	362,105	882,656
その他の包括利益累計額合計	513,302	865,260
純資産合計	29,990,478	29,596,299
負債純資産合計	38,045,152	36,587,276

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	44,648,808	43,847,176
売上原価	19,014,787	18,556,103
売上総利益	25,634,021	25,291,073
販売費及び一般管理費	23,055,075	24,400,470
営業利益	2,578,946	890,603
営業外収益		
受取利息	2,577	3,038
受取配当金	364	381
為替差益	—	55,736
受取地代家賃	29,162	26,078
受取補償金	3,014	17,463
デリバティブ評価益	309,731	—
補助金収入	37,971	66,570
貸倒引当金戻入額	4,038	6,966
雑収入	21,601	25,985
営業外収益合計	408,461	202,220
営業外費用		
支払利息	19,475	20,769
為替差損	40,944	—
デリバティブ評価損	—	339,254
雑損失	7,486	7,907
営業外費用合計	67,906	367,931
経常利益	2,919,501	724,892
特別利益		
受取損害賠償金	60,309	6,064
補助金収入	—	33,790
特別利益合計	60,309	39,854
特別損失		
固定資産除却損	187,425	216,516
減損損失	105,747	110,728
その他	6,619	17,287
特別損失合計	299,792	344,531
税金等調整前四半期純利益	2,680,018	420,214
法人税、住民税及び事業税	1,084,101	292,228
法人税等調整額	110,891	166,781
法人税等合計	1,194,993	459,010
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,485,024	△38,795
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,485,024	△38,795

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	1,485,024	△38,795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,275	190
繰延ヘッジ損益	705,849	△168,783
為替換算調整勘定	134,012	520,550
その他の包括利益合計	842,136	351,957
四半期包括利益	2,327,161	313,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,327,161	313,162
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	37,129,977	7,518,831	44,648,808	—	44,648,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	54,311	54,311
計	37,129,977	7,518,831	44,648,808	54,311	44,703,119
セグメント利益	2,014,024	503,312	2,517,336	△29,483	2,487,853

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

前連結会計年度末に比べて、当第3四半期連結会計期間の中国セグメントの資産が1,764,030千円増加しておりますが、その主な理由は、新規出店に伴う有形固定資産の増加434,566千円、たな卸資産の増加810,192千円であります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,517,336
「その他」の区分の利益	△29,483
セグメント間取引消去	91,092
四半期連結損益計算書の営業利益	2,578,946

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ89,347千円、16,400千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において105,747千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,859,467	8,987,709	43,847,176	—	43,847,176
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	153,608	153,608
計	34,859,467	8,987,709	43,847,176	153,608	44,000,785
セグメント利益	892,787	△77,715	815,072	△47,337	767,735

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ミャンマーの現地法人の事業活動を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	815,072
「その他」の区分の利益	△47,337
セグメント間取引消去	122,867
四半期連結損益計算書の営業利益	890,603

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、商品の評価方法を主として売価還元法から総平均法に変更しております。

当該変更は遡及適用され、前第3四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。その結果、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益又は損失は、遡及適用を行う前と比較して、「日本」でセグメント利益が86,429千円増加、「中国」でセグメント利益が21,798千円減少しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、割引前将来キャッシュ・フロー総額が帳簿価額に満たない店舗については、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「日本」及び「中国」セグメントにおいて、それぞれ102,700千円、8,027千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において110,728千円であります。